

質 疑 回 答 書

事業名	我孫子市公式LINEアカウントサービスシステム構築および運用・保守業務委託		
発注課名	我孫子市役所 秘書広報課 広報室		
	質	疑	回 答
1	5-1システム構築	(2)基本要件	1
<p>④本番送信前にテストが行えることとし、テスト実施のためのアカウントを用意すること。なお、テストアカウントは同時接続可とすること。 →テストアカウントとは、何を指していますでしょうか。 例) LINE 公式アカウント、本サービス用エンドアカウント、受信用LINE アカウント、想定されているテストは、配信時にテストアカウントとして事前に登録したLINE アカウントにのみ配信可能にする制御ができれば問題ないでしょうか。</p>			<p>1 テストアカウントとは、メッセージのテスト配信を確認するためのアカウントです。例示された制御ができれば問題ありません。</p>
2	5-1システム構築	(2)基本要件	2
<p>⑤市のLINE 公式アカウント開設のために必要な各種手続きをすべて行うこと。 →LINE 公共アカウントはまだ開設(一切の開設手続きを行っていない)されていない認識でよろしいでしょうか。</p>			<p>2 お見込みのとおりです。</p>
3	5-1システム構築	(3)システム動作試験	3
<p>→クラウドサービスのため、システム全体の動作検証は個別のお客様向けには実施しておらず、報告書を提出することはできませんが、初期構築時の貴市向けの設定内容については、弊社内で確認をさせていただき、お客様への最終確認は依頼させていただいたうえで稼働を行うようにしております。そちらでも問題ないでしょうか。</p>			<p>3 (3)①～④については受注者で実施するものです。システム全体の動作検証ができない場合に限り、初期構築時に本市向けに設定した部分の動作検証のみでも可としますが、その場合も③の報告書は必要です。市の最終確認については⑤にあたる部分のみ実施します。</p>
4	5-2機能要件	(5)セグメント配信機能 ア 受信設定機能	4
<p>③受信設定の分類は階層構造とし、各層で複数項目を定義できること。なお、項目については市と協議の上決定すること。 →どういった分類を想定されていますでしょうか。</p>			<p>4 子育て、防災、防犯、ごみ、イベント、健康関連、新型コロナ、広報、広報動画などがありますが、受注者のこれまでの実績を踏まえた提案なども勘案し、協議の上決定します。</p>

5 5-4 マニュアル、サポートなど

(1) 市の管理者が運用管理できるように「管理運用操作マニュアル」および「障害発生時対応マニュアル」を作成すること。なお、業務に不慣れなものでも理解できるように、分かりやすさに配慮すること。

→「障害発生時」とは、具体的にどのようなことを想定されていますでしょうか。

例) システム自体の不具合、システム利用時に操作ミス等で誤配信等が発生した場合、等。

6 5 5-4 マニュアル、サポートなど

(2) 単純な操作方法の説明だけでなく、実務で使える「操作マニュアル」を作成して提出すること。

→我孫子市様の運用設計に沿った専用の「操作マニュアル」を運用開始時は作成させていただきますが、SaaSで提供している性質上、将来的に適宜実施する機能アップデートの内容を「専用マニュアル」へ反映するには、マニュアルの保守費が必要と考えております。

「管理運用操作マニュアル」は管理画面からダウンロードいただける汎用マニュアルとしてご用意しており、機能アップデートの度にマニュアルもアップデートを行っております。運用開始後に関しては、こちらの汎用マニュアルに必要な情報が掲載されていれば、当項目を満たす認識でも問題ありませんでしょうか？

7 仕様書 P3

イ マニュアル配信機能

7 管理者は、ブラウザ上で操作可能な管理画面で、過去の合計配信数、配信日、配信時間、タイトル、種別、配信数、成功数、失敗数、開封状況などのデータを確認でき、Excel ファイルや csv ファイルに出力できること。

→管理画面上で確認は可能ですが、Excel、CSV 抽出機能が実装されていない場合、提案書などで代替案を提示させて頂く運びでよろしいでしょうか？

8 仕様書 p4 5-2 機能要件 (4) リッチメニュー表示機能の⑤以降について

お友だち登録頂いた利用者に対し、自動発信できる挨拶メッセージ機能を使って以下のようなメッセージ発信で、仕様をカバー対応する考えは難しいでしょうか。

5 障害は、例示されている事態が主なものとなりますが、受注者がこれまで対応したトラブルで必要と考えられるものは反映してください。

6 お見込みのとおりです。

7 データは統計資料として用いることを目的としています。代替案があればご提案ください。

8 運用ポリシーについては、利用者が自発的に同意する／同意しないを選択する方法が必要です。例示された方法は、利用者の自発的な選択を確認できないため、仕様をカバーできません。

<p>例「お友だち登録ありがとうございます。利用に際し以下 URL より利用規約の確認をお願いします。またこのまま利用を進める場合は、利用規約に同意頂いたこととなります。」</p>	
--	--